

藤原 舞 (平成26年3月卒業)

私は、元々人とコミュニケーションを取る事が好きで、人と関われる仕事がしたいと思い福祉科へ入りました。

姉が福祉科を卒業し介護職へ就いたのも福祉科を選んだ理由の一つでした。入学して三年生になるにつれ、沢山の専門用語を覚えたりと勉強内容も濃くなり大変な時期もありました。又、実習でも思うように積極的に行動出来ず悩むこともありました。

しかし、休憩時間には思いきり友達や先生方と楽しい時間を過ごすことで乗り越えられた気がします。

卒業後は特別養護老人ホームへ就職し今年で三年目になりました。初めは技術の習得に苦戦していましたが先輩方に教わりながら日々勉強しています。

介護職に就いてコミュニケーションがどれだけ大切かを学びました。

利用者の方一人一人性格や生きてきた年月、過ごし方が違います。それぞれの利用者の方に寄り添いながら、日常生活のお手伝いをさせて頂いています。人生の大先輩である利用者の方々に、コミュニケーションや関わり方など、多くのことを学ばせて頂いてる日々を過ごしています。

介護の基本は福祉科で身につけることができました。その基本を忘れずまだまだ足りない部分をこれからも現場で学んでいきたいと思えます。

